

原子力総合シンポジウム 2009 プログラム

2009 National Symposium on Atomic Energy, Tokyo, Japan

主 催 日本学術会議 総合工学委員会

主調テーマ「原子力の将来展開 ～変革期の社会の中で～」

会 期 2009年5月27日(水)～28日(木)

会 場 日本学術会議講堂(東京都港区六本木7-22-34)

参加費無料

開催趣旨 欧米に対するキャッチアップの時代が終わってすでに久しい豊かで先行き不透明な時代の中で、我が国の原子力分野においても将来に向けて、現実的な選択肢を持ちつつ柔軟に対応することが期待されています。

現在、我が国の原子力界では優秀な技術者を数多く抱えているにもかかわらず、新しく生じる課題に柔軟に対応する上で、組織の中での個人の対応や組織のあり方が硬直化している面が顕在化しているのではないのでしょうか。そこには日本の社会が構造的に抱える問題とも密接に関わっています。こういった現象は、社会の変革期につきまとうようにも思われます。

世界の原子力界においては、原子カルネッサンスといった明るい見通しが広まっています。その一方で、変革期の社会の中で、もっと厳しく問題点とそれへの対応を示す必要があると考え、上記のテーマを選びました。多くの若い世代の方々の参加も期待しています。

5月27日(水) 午前の部

司会：(九州大学) 工藤和彦 (敬称略)
開会の辞(10:00-10:10) (運営委員長・日本学術会議) 山地憲治
挨拶(10:10-10:20) (日本学術会議) 大垣眞一郎
I. 基調講演(10:20-11:10) (環境大臣) 斉藤鉄夫
II. 特別講演(11:10-12:00)
我が国の原子力研究、開発及び利用が当面する課題 (原子力委員会) 近藤駿介

————— 昼 休(12:00-13:00) —————

5月27日(水) 午後の部

III. 世界のエネルギー・原子力政策(13:00-14:40)
司会：(電力中央研究所) 池本一郎
(1) 我が国のエネルギー(原子力)政策の展開(13:00-13:30) (東京大学) 田中 知
(2) 動き出したオバマ政権のエネルギー・原子力政策(13:30-14:00)
(電力中央研究所・東京大学) 鈴木達治郎
(3) 欧州のエネルギー(原子力)政策の展開(14:00-14:30) (海外電力調査会) 東海邦博
(4) 質疑応答(14:30-14:40)

————— 休 憩(14:40-14:50) —————

IV. 我が国の原子力技術の中長期展開(14:50-17:00)
司会：(日立GEニュークリア・エナジー) 小澤通裕
(1) 2100年原子力ビジョン—低炭素社会への提言—(14:50-15:20) (日本原子力研究開発機構) 村上正一
(2) 次世代軽水炉の開発(15:20-15:50) (エネルギー総合工学研究所) 田中隆則

- (3) 高速増殖炉の開発 (15:50-16:20) (三菱 FBR システムズ) 岡田敬三
 (4) 高速炉移行期を視野に入れた再処理プロセス (16:20-16:50) (電力中央研究所) 塚田毅志
 (5) 質疑応答 (16:50-17:00)

5月28日(木) 午前の部

司会：(東京電力) 武藤 栄

V. 特別講演 (10:10-11:00)

原子力安全委員会の役割—設立 30 周年を迎えて。今後の取り組み等—

(原子力安全委員会) 早田邦久

VI. 招待講演 (11:00-11:50)

核拡散をめぐる国際政治：インド、パキスタンの核兵器開発を中心に (原子力委員会) 広瀬崇子

——— 昼 休 (11:50-13:00) ———

5月28日(木) 午後の部

VII. 地域の中での原子力—福井県における活動— (13:00-14:50)

司会：(京都大学名誉教授) 木村逸郎

- (1) 原子力と地域社会の自立的連携を目指して (13:00-13:25)

(若狭湾エネルギー研究センター) 来馬克美

- (2) 福井大学国際原子力工学研究所の設立と地域社会 (13:25-13:50)

(福井大学) 竹田敏一

- (3) 福井県における JAEA の地域共生活動—一次世代の人材育成— (13:50-14:15)

(日本原子力研究開発機構) 西田優顕

- (4) 地域住民にとって安全で安心できる原子力との共生関係 (14:15-14:40)

(高浜町) 江上博子

- (5) 質疑応答 (14:40-14:50)

——— 休 憩 (14:50-15:00) ———

VIII. 動き始めた大強度陽子加速器 J-PARC (15:00-16:50)

司会：(日本原子力研究開発機構) 横溝英明

- (1) 建設から運転開始まで (15:00-15:25)

(日本原子力研究開発機構) 永宮正治

- (2) 中性子科学の新時代—中性子を物質・生命科学に利用する立場から— (15:25-15:50)

(東北大学) 山田和芳

- (3) 原子核素粒子研究の展開 (15:50-16:15)

(大阪大学) 山中 卓

- (4) 長寿命核種の加速器駆動核変換 (16:15-16:40)

(東北大学) 岩崎智彦

- (5) 質疑応答 (16:40-16:50)

閉会挨拶 (16:45-17:00)

(日本原子力学会) 岡 芳明

参加無料

参加を希望される方は、原子力学会ホームページより
事前登録をお願い致します。

<http://www.aesj.or.jp/>

問合せ先

原子力総合シンポジウム 2009 運営委員会
 社団法人 日本原子力学会 事務局内
 105-0004 東京都港区新橋 2-3-7 新橋第二ビル 3F
 TEL 03-3508-1261, FAX 03-3581-6128,
 E-mail kikaku@aesj.or.jp

